

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711(通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所市場第2部
公告方法	当社HP(http://www.uchiyama-gr.jp)での電子公告により行う。ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

- (注)1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている証券会社等で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 ウチヤマホールディングス
UCHIYAMA HOLDINGS

〒802-0044
北九州市小倉北区熊本2丁目10番10号
内山第20ビル1F
TEL : 093-551-0002(代表)
お問い合わせアドレス : <http://www.uchiyama-gr.jp/cgi/form/form.cgi>



ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C017219

UCHIYAMA REPORT

| ウチヤマ通信 | 第8期 2013年4月 1日から
2014年3月31日まで



 ウチヤマホールディングス
UCHIYAMA HOLDINGS

証券コード 6059



代表取締役社長
内山 文治

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

当社は、2012年4月の株式上場から丸2年が経過し、昨年12月には、東京証券取引所市場第2部へ市場変更することができました。

今後も皆様のご期待にお応えすべく、全社一丸となって企業価値の最大化に取り組んでまいりますので、引き続きご支援のほどお願い申し上げます。

今後も増収増益基調を確保しながら、更なる全国展開を推し進めてまいります。

当期は利益改善を果たし、増収増益となりました。

当期の連結業績は、前期比9.0%の増収、同9.4%の営業増益となりました。この増収増益の主な要因は、介護事業とカラオケ事業の主力2事業において、既存の施設・店舗の営業が堅調に推移したことにより加え、新規の施設・店舗が順調に立ち上ってきたことによるものです。

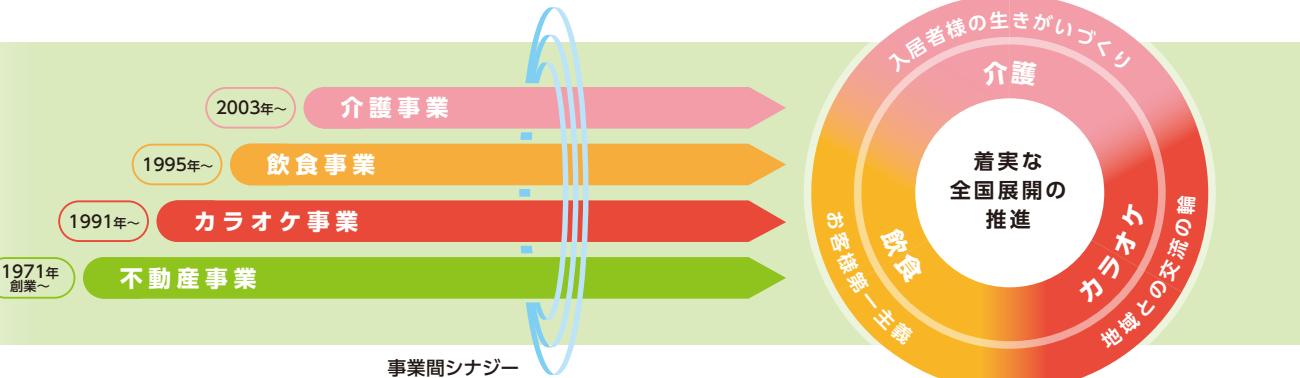
近年、当社グループは介護施設の開設を加速させてきたことから、施設立上げに伴う先行投資等が増加し、これが利益を押し下げる大きな要因となっております。現在、営業利益率は10%前後の水準にありますが、今後も一定の利益水準は確保しながら、積極的な新規開設を継続し、売上拡大による利益成長を追求してまいります。

なお、当社グループは、介護施設についてオフバランススキームを活用しております。これは、当社が建設した介護施設を売却してリースバック取引により賃貸借契約により施設を当社が運営していく、というものです。売却で得た資金で当該施設建設のための借入金を返済するため、バランスシートが身軽になり、その分、新規開設スピードを上げることができる、といったメリットがあります。当期は、このスキームを活用した5施設の売却などで特別利益約13億円を計上しており、当期純利益は前期比61.0%の増益となっております。

介護事業・カラオケ事業ともに、全国への進出が順調に進んでおります。

当社グループは、介護事業を「成長の原動力」、カラオケ事業・飲食事業を「安定収益力」と位置づけて、事業の全国化を推し進めております。

介護事業では、前期の7施設に続き、当期は介護付き有料老人ホームや併設型施設など計6施設を新たに立ち上げました。また、愛知県と埼玉県に初進出を果たし、展開エリアが更に広がってきました。介護事業では、地域に根差し、地域の皆様との交流や信頼関係を深めていくことが不可欠であり、“地域から愛される介護施設”となつて初めて高入居率の安定的な持続が可能であると考えております。



当期は利益改善を果たし、増収増益となりました。

高齢化が加速する日本社会の中で、当社グループの介護事業が果たすべき役割はますます高まっております。また、カラオケ事業と飲食事業を取り巻く競争環境は一段と厳しい状況となりつつあります。

そうした中で当社グループは、事業を通じて「幼青老の共生」(幼年・青年・老年、共に楽しく過ごせる社会作り)を全国に拡げていく取り組みを行っております。すべてのステークホルダーの幸せや満足を追求

たとえば、昨年から新たに、地域の皆様の交流の場として当社施設をご利用いただぐ「土曜喫茶」を導入し、現在ではほぼ全国の施設に広がっております。新規進出エリアが増加する中、今後はこうした“地域密着”的取り組みを更に強化してまいります。

カラオケ事業では、当期も全国で6店舗の新規出店を果しました。現在、首都圏を中心とした関東エリアでの出店に力を入れており、今後2年間で現在の6店舗から20店舗体制を目指してまいります。

飲食事業では、既存店の店舗力強化に注力しており、当期は「かんてきや黒崎本店」のリニューアルを行い、売上高は実施前に比べ約2倍になるなど大きな成果を得ております。また、新規出店については、特に関東エリアにおいてカラオケ店舗との併設型の出店も図っていく予定です。

していけば、会社の利益は自然とついてくる、と私は信じており、その実践が当社グループの経営の根幹となっております。

介護施設では、入居者様が主役であり、私どもは入居者様の生きがいづくりのサポーターです。従業員の雇用においては、“これからも社会のお役に立ちたい”と願う方には仕事を続けていただいており、現在、正社員の最高齢は71歳、パート社員の最高齢は85歳です。

これからも、独自の理念と哲学を全国に拡げてまいります。今後もウチヤマグループの経営にご期待ください。

営業概況

介護事業・カラオケ事業ともに順調に拡大

当期は、引き続き、介護事業・カラオケ事業が共に増収となり、連結売上高は前期比9.0%増の217億58百万円となりました。

売上構成比では、介護事業47.4%、カラオケ事業40.0%となり、この2事業で売上をほぼ2分しております。飲食事業は、現在、九州を中心に多業態展開をしながら、将来の多店舗化を見据えたトライアル段階にあり、売上構成比は9.4%の状況にあります。

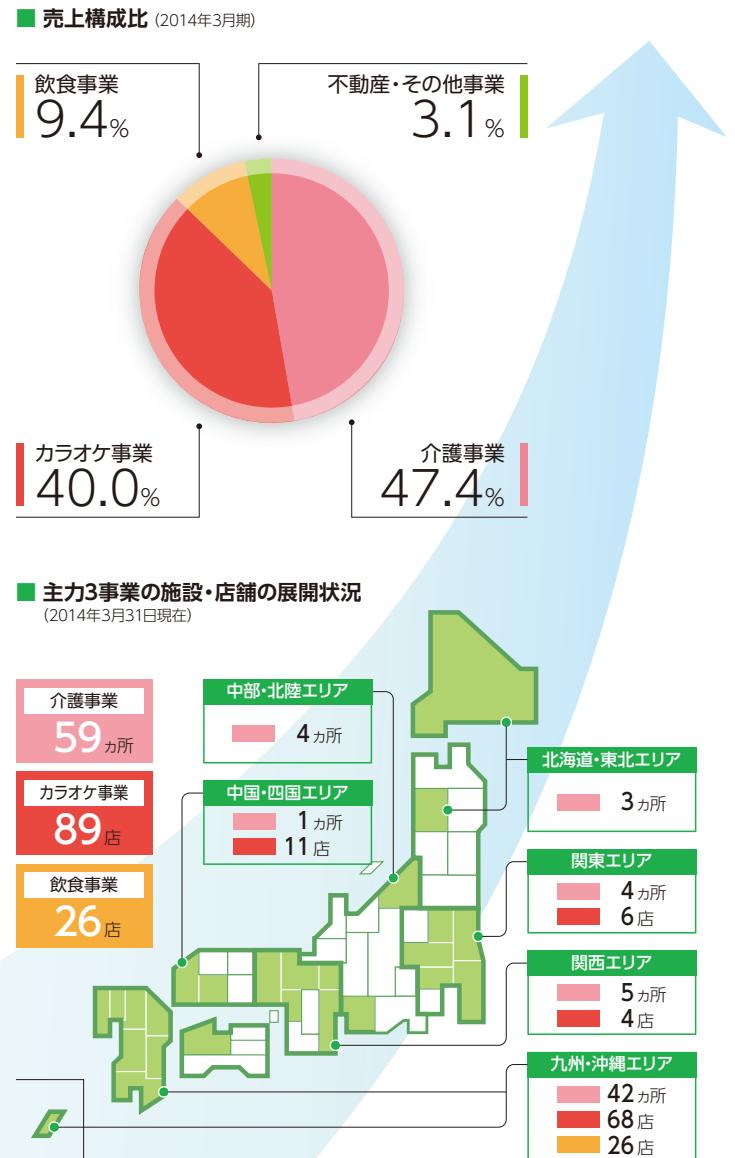
利益面では、連結営業利益は前期比9.4%増の21億20百万円と、増益基調を回復しております。

次期2015年3月期の連結業績は、売上高245億50百万円(当期比12.8%増)、営業利益23億91百万円(同12.8%増)を予想しております。

2014年3月期の連結業績

連結 売上高
21,758 百万円
(前期比9.0%増)

連結 営業利益
2,120 百万円
(前期比9.4%増)



セグメント情報

Nursing Care

介護事業



全国への拠点拡大に加え、既存施設では地域との連携強化に努め、安定した入居維持と運営に努めました。

当期は、介護付有料老人ホーム3カ所に加え、併設型施設を3カ所開設しました。また、ショートステイ1事業所、デイサービスセンター3事業所を新規開設しました。既存施設では、空室を減らし、安定した入居を維持するため、近隣の病院や居宅介護支援事業所への訪問による連携の強化を推進しました。これらの結果、介護事業の売上高は前期比15.3%増の103億18百万円となりました。



Topics

愛知県と埼玉県に初進出

前期は三重県・千葉県・栃木県・愛媛県の4エリア、当期は愛知県と埼玉県の2エリアに初進出を果たし、全国化が順調に進んでおります。「さわやか なんよう館」(愛知)は、介護付有料老人ホーム80床とショートステイ20床の合計100床の併設型施設。また、介護付有料老人ホーム「さわやか いわつき館」(埼玉)は47床の施設です。ともに、地域の医療機関(病院および歯科)との提携により万全のサポート体制を敷いております。



介護付有料老人ホーム
「さわやか なんよう館」(愛知)



介護付有料老人ホーム
「さわやか いわつき館」(埼玉)

Segment Information

セグメント情報

Karaoke

カラオケ事業

■ 売上高 8,714 百万円 (前期比4.4%増)

■ セグメント利益 1,759 百万円 (前期比10.1%増)

新規出店による店舗数の拡大に加え、既存店では新たな顧客層やニーズの取り込みに注力し、集客・客単価アップに努めました。

当期は、全国で6店舗を新規出店しました。既存店舗では、明るさ、安心感、安全性を意識した店舗運営を心掛けるとともに、シニア層(65歳以上)を対象とした特典付き会員カード「さわやかゴールドメンバーカード」の発行を行い、新たな顧客層の拡大に努めました。また、宴会需要の取り込みにも積極的に対応するなど、集客及び客単価アップに努めました。これらの結果、カラオケ事業の売上高は前期比4.4%増の87億14百万円となりました。

■ 売上高の推移(百万円)
2013/3: 8,347, 2014/3: 8,714

Topics

東京都内5店目となる新橋本店オープン

JR山手線「新橋駅」銀座口を出てすぐ、外堀通り沿いの好立地に、「コロッケ倶楽部 新橋本店」(港区新橋2-18-3)が、2014年3月にオープンしました。同店の出店は、東京都内で5店目、新橋界隈では、1年前の2013年3月にオープンした「新橋店」に引き続き2店目となります。計画を大幅に上回る業績を続けている「新橋店」と同様に、「新橋本店」でも出店直後から地域のお客様からご支持を得て、業績を順調に伸ばしております。

「コロッケ倶楽部 新橋本店」(東京)

Food Service

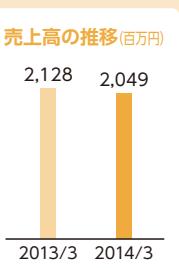
飲食事業

■ 売上高 2,049 百万円 (前期比3.7%減)

■ セグメント利益 206 百万円 (前期比20.2%減)

既存店活性化のための各種施策を実行しました。

既存店2店舗のリニューアルを行いました。また、タイムサービスによる利用促進、宴会需要の取り込み、繁忙期の安定した接客サービス提供のための従業員教育の強化などに努めました。これらの結果、飲食事業の売上高は前期比3.7%減の20億49百万円となりました。



Real Estate / Other

不動産事業・その他

■ 売上高 675 百万円 (前期比23.8%増)

■ セグメント利益 69 百万円 (前期比38.5%増)

不動産・ホテル事業の活性化に注力しました。

不動産事業では物件売買及び賃貸の仲介業務等により、また、ホテル事業では宿泊客の増加、宴会の獲得、日帰り入浴の促進等により、それぞれ収益を伸ばしました。これらの結果、不動産事業・その他の売上高は前期比23.8%増の6億75百万円となりました。

■ 売上高の推移(百万円)
2013/3: 545, 2014/3: 675

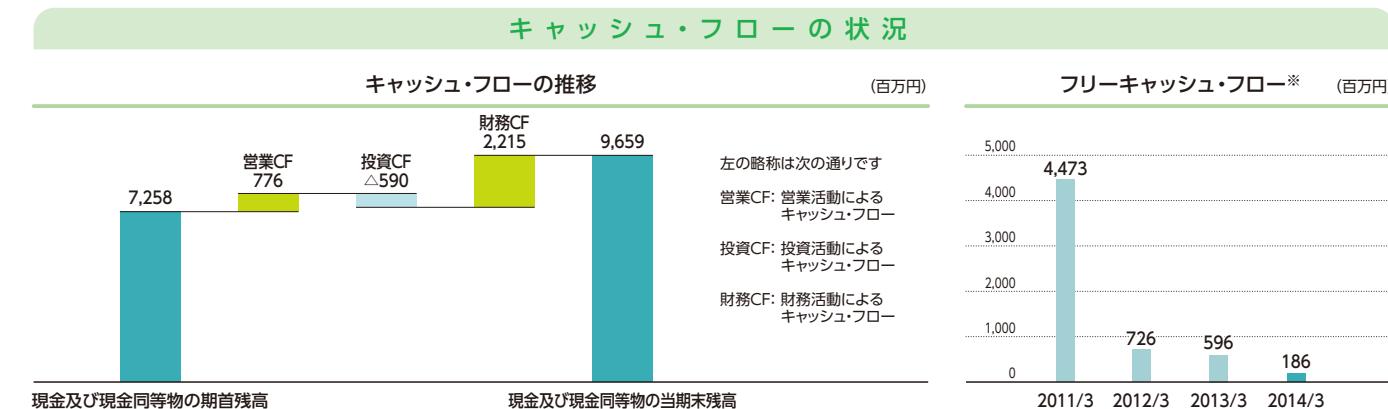
Consolidated Financial Highlights

2014年3月期 連結決算のご報告

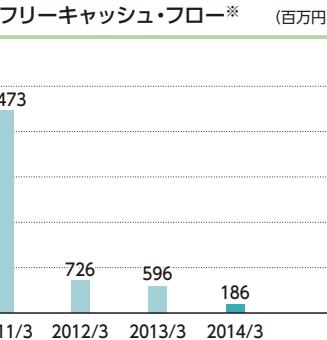


政府による経済政策の効果等により、円安・株高基調で推移し、輸出企業を中心にはじめ改善が見られるなど、緩やかな回復基調となりました。こうした環境下、当社グループは各事業において積極的な営業活動を展開するとともに、事業間シナジーを向上させる取り組みを行い、グループ全体の利益の最

大化に努めました。この結果、当期の連結業績は、売上高217億58百万円(前期比9.0%増)、営業利益21億20百万円(同9.4%増)、経常利益24億11百万円(同24.6%増)、当期純利益22億17百万円(同61.0%増)となりました。

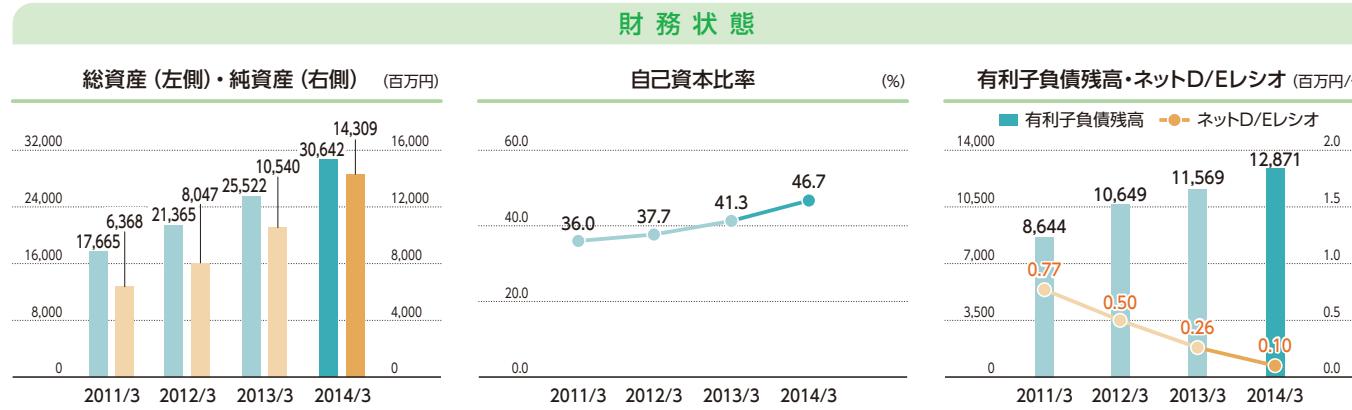


左の略称は次の通りです
営業CF: 営業活動によるキャッシュ・フロー
投資CF: 投資活動によるキャッシュ・フロー
財務CF: 財務活動によるキャッシュ・フロー



税金等調整前当期純利益や減価償却費の計上などにより営業CFが7億76百万円の収入、有形固定資産の取得(新規の施設・店舗)や定期預金の預入、敷金及び保証金の差入などにより投資CFが5億90百万円の支出、長期借入金や割賦債務の返済、配当金の支払の一方で、長期借入れ、株式発行などによる収入があり財務CFが22億15百万円の収入となりました。この結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ24億円増の96億59百万円となりました。

どによる収入があり財務CFが22億15百万円の収入となりました。この結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ24億円増の96億59百万円となりました。



総資産は、現金及び預金や販売用不動産の増加、新規の施設及び店舗の開設に伴う建物及び構築物、建設仮勘定、敷金及び保証金などの増加により、前期末比51億19百万円増の306億42百万円となりました。純資産は、新株の発行に伴う資本金及び資本剰余金の増加、当期純利益の計上による

利益剰余金の増加などにより同37億68百万円増の143億9百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は同5.4ポイント向上し46.7%となりました。なお、有利子負債残高は、同13億2百万円増の128億71百万円、ネットD/Eレシオは前期末比0.16ポイント改善し0.10倍となりました。



当社では、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけ、安定配当の継続に努めています。当社は、2014年1月1日に1:4の株式分割を行っており、遡及修正後の金額で比較しますと、当期末の配当金は、前年同期の実績と同様の1株当たり5円にて実施させていただきました。

これにより、当第2四半期の配当金5円(遡及修正前は20円)を合わせて年間配当金10円となりました(前年実績と同様)。
次期(2015年3月期)の配当金は、当期と同様に、年間配当10円(第2四半期5円、期末5円)を計画しております。

(注)上記の1株当たり指標は、2011年12月7日付けの株式分割(1:5)及び2014年1月1日付けの株式分割(1:4)に伴う遡及修正値。

Shareholder's Information

株主様向け情報 (2014年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	58,400,000株
発行済株式総数	21,618,800株
株主数	5,628名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ウチヤマフューチャー	6,400,000	29.60
内山 文治	2,210,020	10.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	921,500	4.26
内山 孝子	865,920	4.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	752,900	3.48
ウチヤマホールディングス従業員持株会	500,900	2.31
ビービーエイチ フィデリティ ピューリタン フィデリティ シリーズ イントリンシック オブチャニティーズ フンド	376,100	1.73
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ フィデリティ ファンズ	336,100	1.55
株式会社エクシング	304,800	1.40
株式会社第一興商	280,000	1.29

(注)持株比率は、自己株式(376株)を控除して計算しております。

株主優待制度 のご案内

当社は株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に当社株式を保有していただくこと、さらには当社グループへのご理解をより深めていただくべく、株主優待制度を導入しております。より全国の株主の皆様に広くご活用いただくべく、お米券をご進呈させていただきます。

詳細につきましては、弊社ホームページをご覧下さい。

ご優待内容

『お米券』をご進呈



対象となる株主

毎年3月31日現在の当社株式名簿に記載または記録された4単元(400株)以上を保有されている株主様を対象としています。

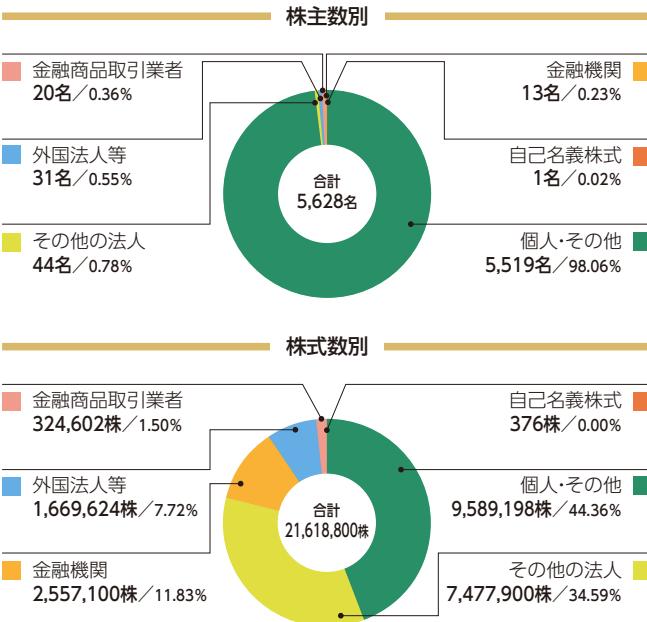
優待の内容

お米券5kg分(1kg券×5枚)

贈呈期間

毎年6月の当社定時株主総会終了後、送付する決議ご通知に同封いたします。

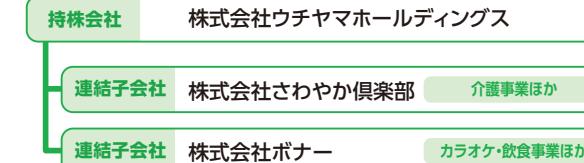
株式分布状況



会社概要

商号	株式会社ウチヤマホールディングス
設立	2006(平成18)年10月2日
代表者	代表取締役社長 内山 文治
資本金	22億2,293万円
従業員数	連結 3,741名(パート・アルバイトも含む)
事業内容	持株会社としてグループ会社の経営管理 グループ全体の経営戦略の立案
連結子会社	・株式会社さわやか倶楽部 ・株式会社ボナー
上場取引所	東京証券取引所市場第2部
(証券コード)	(6059)

グループ経営体制



役員 (2014年6月26日現在)

代表取締役社長	内山 文治	社外取締役	矢田 逸夫
専務取締役	生嶋 伸一	監査役	嶋井 太郎
専務取締役	竹村 義明	社外監査役	住川 守
専務取締役	歌野 繁美	社外監査役	岸本 進一郎
専務取締役	山本 武博		
取締役	吉岡 信之		
取締役	川村 謙二		
取締役	二村 浩司		

ホームページのご紹介

トップページ

<http://www.uchiyama-gr.jp/index.html>



IR情報

<http://www.uchiyama-gr.jp/ir/index.html>

